

# 調和型水素社会形成計画 に関する取り組み

令和元年9月  
敦賀市

# 調和型水素社会形成計画の取組① ー水素関連への技術支援ー

## 敦賀市の優位性

- ① 立地特性 日本海側沿岸のほぼ中央に立地し、関西・中京から最も近い日本海側の結節点
- ② 敦賀港 エネルギー供給拠点を築く上で不可欠な天然の良港敦賀港を有する。
- ③ 送電線網 大都市圏に向けた高圧送電網が存在

## 敦賀を中心とする新たなエネルギーのサプライチェーンを構築

### ① 関連企業・団体及び地元企業における水素関連の技術開発支援

事業名	支援企業	概要
再エネ水素ステーション 開発プロジェクト ※H30、31エネ高採択事業	東芝エネルギーシステムズ (株)	・再エネ由来水素ステーションの研究開発・実証事業 ・地元企業との連携拠点となるR&D・PRセンターを設置 ⇒ ローカル水素サプライチェーン構築等を目指す。
リサイクル水素 製造プロジェクト	敦賀セメント(株)、太平洋セ メント、敦賀セメント運輸 (株)、(株)テクノツルガ、(株)アー セック コンソーシアム	・下水汚泥等の処理時に発生するバイオガス化し、 副生物として発生する水素製造の技術開発を支援 ・これにより本市固有の水素供給源を確保 ⇒ ローカル水素サプライチェーン構築を目指す。
高効率水素エンジン利用 ドローン研究開発プロジェクト ※H31エネ高採択事業	(株)日東工作所 ※関西スマートエネルギー イニシアティブ	・近畿経済産業局が進める水素エンジン利用ドローン 「HyDrone」の技術開発を支援 ・大阪・関西万博でのデモフライト及び新たな水素モビリティの開 発を推進

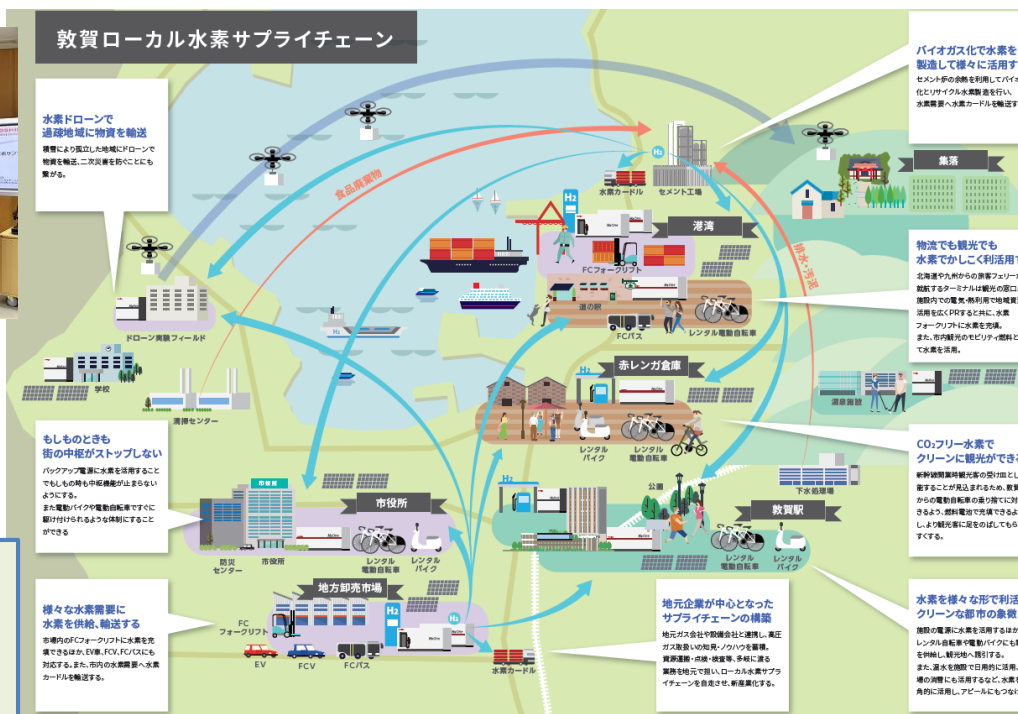
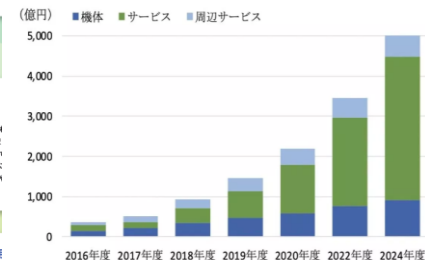
水素関連の技術開発を支援し、ローカル水素サプライチェーンやエネルギービジネスの種(シーズ)を育成

## ② 技術開発の地元定着とローカル水素サプライチェーンの構築

①で支援した技術開発を活用し、地域で水素エネルギーの循環を図り、地元定着を実現  
 ⇒ 地元企業と連携した新たなエネルギービジネスの創出 + ローカル水素サプライチェーンの構築

### 【高効率水素エンジン利用ドローン研究開発プロジェクト】

- ・近畿経済産業局との連携プロジェクト
- ・研究開発のみならず、関連産業誘致を目指す



### 【再エネ由来水素ST開発プロジェクト】

- ・東芝ESSとの間で、連携協定を締結
- ・今年度、水素STとR&Dセンター稼働予定

・様々な企業の最先端の技術開発を支援  
 ・当該技術を活かした新ビジネスの地元定着

